

「消費者教育の諸概念の分類」

共立女子短大生活科学

松岡 明子

東横学園女子短大生活学

○中原 秀樹

目的；生活者の自立と問題解決の能力を育成を目指して、平成6年4月に小・中・高とわが国の学校教育に一環して導入が図られた消費者教育だが、その体系と構成する諸概念の分類は未だなされていない。わが国におけるこの消費者教育の体系に係る未整備は、消費者教育の教育としての不完全性を露呈するものであり、公教育への教育の責任放棄でもある。本発表では、わが国消費者教育に多大な影響を与えた欧米の消費者教育の体系の諸概念を検証することで、わが国消費者教育の体系化への作業着手の促進を図りたい。これは同時に消費者教育教員養成機関であるわが国の大学等諸機関が早急に着手すべき課題である。

方法；今日世界各国の消費者教育の体系となっている米国教育省のClassification of Concepts in Consumer Educationをもとに、(1)消費者教育開発プログラムの諸概念の分類過程を検証し、(2)研究分野としての消費者教育を比較吟量する。

結果；今日の社会状況に対応しうる消費者教育概念の新たな追加項目の提言と、消費者・生活者の意志決定に影響をあたえる情報収集力の強化のために諸概念を構成する関連分野による分類の再構成を試みる。